

機械設備定期点検(1)

点検月 平成 27 年 6 月

設備名	点検項目	周期	点検結果	設備名	点検項目	周期	点検結果			
原水調整設備	調整槽 調整槽ポンプ	浮遊物除去	6	—	高度処理設備	洗淨工程確認	月	○		
		本体付着物除去	年	—		砂ろ過塔	空洗タイマー設定値(分)	月	○	
		潤滑油交換	年	—			逆洗タイマー設定値(分)	月	○	
		外観	年	—			空気弁動作確認	月	○	
		プロペラ確認	年	—		No.1 活性炭吸着塔	洗淨工程確認	月	○	
		キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			逆洗タイマー設定値(分)	月	○	
	原水槽	No.1原水ポンプ	浮遊物除去	6		—		空気弁動作確認	月	○
			フロートスイッチ動作	6		—	No.2 活性炭吸着塔	洗淨工程確認	月	○
			本体付着物除去	年		—		逆洗タイマー設定値(分)	月	○
		No.2原水ポンプ	潤滑油交換	年		—		空気弁動作確認	月	○
			外観	年		—	ゼオライト原水槽	本体付着物除去	年	—
			プロペラ確認	年		—	ゼオライト原水ポンプ	潤滑油交換	年	—
	揚水計量槽	第一PH調整槽	外観	年	—		プロペラ確認	年	—	
			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	消毒槽	浮遊物除去	6	—	
		第一沈殿池	汚泥等の堆積	月	○		浮遊物除去	6	—	
			槽内清掃	月	○		フリクトスイッチ動作確認	6	—	
			撈り機	3	—	放流槽	No.1処理水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—
	第一汚泥ピット	返送汚泥ポンプ	年	—			潤滑油交換	年	—	
		外観	年	—			外観	年	—	
		プロペラ確認	年	—			プロペラ確認	年	—	
	硝化槽	2槽	散気状態	月	○			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—
			散気状態	月	○		No.2処理水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—
			散気状態	月	○			潤滑油交換	年	—
3槽		散気状態	月	○		外観		年	—	
		散気状態	月	○		プロペラ確認	年	—		
		散気状態	月	○		キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		
脱窒素槽	1槽	水中攪拌機攪拌状況	月	○	消毒放流設備	1-1放流水移送ポンプ	浮遊物除去	6	○	
		オイル交換(業者)	年	—			本体付着物除去	年	○	
		水中攪拌機攪拌状況	月	○			潤滑油交換	年	○	
	2槽	オイル交換(業者)	年	—			外観	年	○	
		水中攪拌機攪拌状況	月	○			プロペラ確認	年	○	
		オイル交換(業者)	年	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	○	
再曝気槽	循環ポンプ	散気状態	月	○		1-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	○	
		本体付着物除去	年	—		潤滑油交換	年	○		
		潤滑油交換	年	—		外観	年	○		
凝集沈殿	第二PH調整槽	プロペラ確認	年	—		2-1放流水移送ポンプ	プロペラ確認	年	○	
		電磁弁動作確認	月	○		外観	年	—		
		キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		プロペラ確認	年	—		
	混和槽	攪拌機	回転部スケール除去	年	—		2-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—
			プロペラ確認	年	—		潤滑油交換	年	—	
			プロペラ確認	年	—		外観	年	—	
凝集槽	攪拌機	回転部スケール除去	年	—		3-1放流水移送ポンプ	プロペラ確認	年	—	
		プロペラ確認	年	—		外観	年	—		
		プロペラ確認	年	—		キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		
第二沈殿槽	撈り機	トラフの損傷、越流状況	月	○		3-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	—	
		浮遊物の除去	月	○		潤滑油交換	年	—		
		グリッド補充	3	—		外観	年	—		
高度処理設備	中和槽	回転部スケール除去	年	—		4-1放流水移送ポンプ	プロペラ確認	年	—	
		プロペラ確認	年	—		外観	年	○		
		浮遊物除去	6	—		プロペラ確認	年	○		
	ろ過原水槽	ろ過原水ポンプ	フリクトレベルスイッチ動作	6	—		4-2放流水移送ポンプ	キャブタイヤケーブル絶縁	年	○
			本体付着物除去	年	—		本体付着物除去	年	○	
			潤滑油交換	年	—		潤滑油交換	年	○	
		外観	年	—		外観	年	○		
		プロペラ確認	年	—		プロペラ確認	年	○		
		キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		キャブタイヤケーブル絶縁	年	○		

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可
 ×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考

機械設備定期点検(2)

点検月 平成 27 年 6 月

設備名		点検項目		周期	点検結果	設備名	点検項目		周期	点検結果	
薬品注入設備	薬品貯留槽	メタノール	ストレーナー清掃	年	—	空気源設備	空気圧縮機	ねじ、ナットの緩み	月	○	
		苛性ソーダ	ストレーナー清掃	年	—			ベルトの伸び、傷み	月	○	
		塩化第二鉄	ストレーナー清掃	年	—			吸引ろ過器詰め物点検	月	○	
		硫酸	ストレーナー清掃	年	—			運転開始圧力(Mpa)	月	○	
	薬品溶解槽	リン酸	ストレーナー清掃	年	—			運転停止圧力(Mpa)	月	○	
			タンク内部確認	年	—			潤滑油交換	3	○	
		凝集助剤A	ストレーナー清掃	月	○			吸引ろ過器詰め物交換	年	○	
			タンク内部確認	年	—			タンクの清掃点検	年	○	
		凝集助剤B	ストレーナー清掃	月	○			本体付着物除去	6	—	
			タンク内部確認	年	—			潤滑油交換	年	—	
	薬品注入ポンプ	メタノール	潤滑油交換	6	—	第二汚泥ピット	排泥ポンプ	外観	年	—	
		No.1苛性ソーダ	潤滑油交換	6	—			プロペラ確認	年	—	
		No.2苛性ソーダ	潤滑油交換	6	—			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
		No.3苛性ソーダ	潤滑油交換	6	—			浮遊物除去	6	—	
		No.4苛性ソーダ	潤滑油交換	6	—	汚泥濃縮槽	濃縮汚泥ポンプ	本体付着物除去	6	—	
		塩化第二鉄	潤滑油交換	6	—			潤滑油交換	年	—	
		硫酸	潤滑油交換	6	—			外観	年	—	
		凝集助剤	潤滑油交換	6	—			プロペラ確認	年	—	
	薬品注入量	メタノール	実量測定(ml/分)	月	○	汚泥貯留槽		キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
		塩化第二鉄	実量測定(ml/分)	月	○			散気管確認	6	—	
りん酸		実量測定(ml/分)	月	○			フリクトレベルスイッチ動作	6	—		
凝集助剤		実量測定(ml/分)	月	○	給排水設備	床排水	床排水ポンプ	浮遊物除去	6	—	
				本体付着物除去				6	—		
				潤滑油交換				年	—		
				外観				年	—		
ブロウ設備	ブロウ	No.1曝気ブロウ	Vベルト張り状態	3		○	雑排水槽	雑排水ポンプ	プロペラ確認	年	—
			ベアリンググリス交換	3		○			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—
			ギヤオイル交換	3		○			浮遊物除去	6	—
			Vベルト交換	年		○			本体付着物除去	6	—
		No.2曝気ブロウ	圧力計交換	年		○	潤滑油交換	年	—		
			吸込フィルタ清掃	年		○	外観	年	—		
			温度	3	○	プロペラ確認	年	—			
			安全弁動作	3	○	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
	No.3曝気ブロウ	各接合部締付	3	○	第二雑排水槽	第二雑排水ポンプ	浮遊物除去	6	—		
		Vベルト張り状態	3	○			本体付着物除去	6	—		
		ベアリンググリス交換	3	○			潤滑油交換	年	—		
		ギヤオイル交換	3	○			外観	年	—		
	ブロウ	No.3曝気ブロウ	Vベルト交換	年	○	プロペラ確認	年	—			
			圧力計交換	年	○	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—			
			吸込フィルタ清掃	年	○	槽内点検	月	○			
			温度	3	○	警報の有無	月	○			
		原水槽攪拌ブロウ	安全弁動作	3	○	PH計	PH計	清掃	年	—	
			Vベルト張り状態	3	○			第一PH調整槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.55-7.05
			ベアリンググリス交換	3	○				KCL確認、補充	月	○
			ギヤオイル交換	3	○				電極の清掃及び校正	月	○
汚泥貯留槽攪拌ブロウ	Vベルト交換	年	○	硝化槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	8.15-8.25				
	フィルタエレメント交換	年	○			電極の清掃及び校正	月	○			
	安全弁動作	3	○	第二PH調整槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.45-6.55				
	Vベルト張り状態	3	○			KCL確認、補充	月	○			
空洗ブロウ	空洗ブロウ	ベアリンググリス交換	3	○	中和槽		電極の清掃及び校正	月	○		
		ギヤオイル交換	3	○			設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.35-6.45		
		Vベルト交換	年	○				KCL確認、補充	月	○	
		フィルタエレメント交換	年	○				電極の清掃及び校正	月	○	
							設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.75-6.85		
							KCL確認、補充	月	○		
							電極の清掃及び校正	月	○		
							電極の清掃及び校正	月	○		

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可
 ×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考

電気設備定期点検(1/2)

点検月 平成 27 年 6 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.1曝気ブロウ	1	電流値(A) : 162A	3	156.9	145.6	176.1	○
		電圧値(V) : 200V	3	—	—	—	
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.2曝気ブロウ	2	電流値(A) : 162A	3	153.4	160.2	171.4	○
		電圧値(V) : 200V	3	—	—	—	
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.3曝気ブロウ	3	電流値(A) : 170A	3	154.0	158.7	170.7	○
		電圧値(V) : 200V	3	—	—	—	
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
原水槽 攪拌ブロウ	4	電流値(A) : 3.7A	3	3.35	3.14	3.07	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	3	∞	∞	∞	○
No.1調整槽 ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2調整槽 ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1原水ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2原水ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
循環ポンプ	9	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
返送汚泥 ポンプ	10	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
排泥ポンプ	11	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
余剰汚泥ポンプ	12	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
濃縮汚泥 ポンプ	13	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
床排水ポンプ	14	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			結果
りん酸 注入ポンプ	15	電流値(A) : 0.8A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
メタノール 注入ポンプ	16	電流値(A) : 0.8A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1硫酸 注入ポンプ	17	電流値(A) : 1.3A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2硫酸 注入ポンプ	18	電流値(A) : 1.3A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
塩化第二鉄 注入ポンプ	19	電流値(A) : 1.3A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1苛性ソーダ 注入ポンプ	20	電流値(A) : 1.3A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2苛性ソーダ 注入ポンプ	21	電流値(A) : 1.3A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3苛性ソーダ 注入ポンプ	22	電流値(A) : 1.3A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4苛性ソーダ 注入ポンプ	23	電流値(A) : 1.3A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一PH調整槽 攪拌機	24	電流値(A) : 2.2A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一沈殿槽 掻寄機	25	電流値(A) : 2.35A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1脱窒素槽 水中攪拌機	26	電流値(A) : 7.8A	3				
		絶縁抵抗値(MΩ)	3				
No.2脱窒素槽 水中攪拌機	27	電流値(A) : 15.7A	3				
		絶縁抵抗値(MΩ)	3				
No.3脱窒素槽 水中攪拌機	28	電流値(A) : 5.9A	3				
		絶縁抵抗値(MΩ)	3				

注) 測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR,S,T 絶縁抵抗値はR-E,S-E,T-Eとします。
 判定の基準は、電流値については定格値以下であること、絶縁抵抗値については0.2MΩ以上とします。

電気設備定期点検(2/2)

点検月 平成 27 年 6 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
りん酸溶解槽 攪拌機	29	電流値(A) : 0.62A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
ろ過原水ポンプ	30	電流値(A) : 9.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
逆洗ポンプ	31	電流値(A) : 15.4A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
ゼオライト原水 ポンプ	32	電流値(A) : 6.9A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1 処理水移送 ポンプ	33	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2 処理水移送 ポンプ	55	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
凝集助剤 注入ポンプ	36	電流値(A) : 1.3A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
雑排水 ポンプ	37	電流値(A) : 10.2A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二PH調整槽 攪拌機	38	電流値(A) : 3.8A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
混和槽攪拌機	39	電流値(A) : 3.8A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1 凝集槽 攪拌機	40	電流値(A) : 1.24A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2 凝集槽 攪拌機	56	電流値(A) : 1.24A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二沈殿槽 掻寄機	41	電流値(A) : 2.35A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
中和槽攪拌機	42	電流値(A) : 3.8A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1 凝集助剤 溶解槽攪拌機	44	電流値(A) : 1.30A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.2 凝集助剤 溶解槽攪拌機	45	電流値(A) : 1.30A	年				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
空洗ブロワ	46	電流値(A) : 3.8A	3	4.18	4.17	3.85	△
		絶縁抵抗値(MΩ)	3	∞	∞	∞	○
汚泥貯留槽 攪拌ブロワ	47	電流値(A) : 6.8A	3	4.26	4.68	5.09	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	3	∞	∞	∞	○
給水ユニット No.1ポンプ No.2ポンプ	49	絶縁抵抗値(MΩ)	年				
		電流値(A) : 3.5A	年				
		電流値(A) : 3.5A	年				
空気圧縮機	51	電流値(A) : 9.9A	年	8.43	9.17	9.13	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
第二雑排水 ポンプ	57	電流値(A) : 9.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1-1 放流水 移送ポンプ	1	電流値(A) : 3.8A	6	3.00	2.77	2.89	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.1-2 放流水 移送ポンプ	2	電流値(A) : 3.8A	6	2.83	2.84	2.86	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.2-1 放流水 移送ポンプ	3	電流値(A) : 3.8A	6	2.76	2.92	2.92	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.2-2 放流水 移送ポンプ	4	電流値(A) : 3.8A	6	2.88	3.04	2.99	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.3-1 放流水 移送ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6	2.85	2.98	2.91	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.3-2 放流水 移送ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6	2.97	2.97	3.03	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.4-1 放流水 移送ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6	2.87	2.83	2.98	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.4-2 放流水 移送ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6	2.93	2.93	3.04	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○

注) 測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR,S,T 絶縁抵抗値はR-E,S-E,T-Eとします

備考 曝気ブロワの電流値はR相は、UとXの合算、S相は、VとYの合算、T相はWとZの合算です。
空洗ブロワの電流値が3相とも定格を超過しております。運転時間が短いので運転に支障は出ないと思いますが要観察です。